

4) 成人市中肺炎の重症度別患者数等

【2019年度】

	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	17人	14.6日	51.8歳
中等度	77人	13.3日	74.0歳
重症	29人	10.9日	79.8歳
超重症	10人	15.8日	84.9歳
不明	-	-	-

身体所見、年齢による肺炎の重症度分類（A-DROPシステム）

- 1 男性70歳以上、女性75歳以上
- 2 BUN 21mg/dl以上または脱水あり
- 3 SpO₂ 90%以下（PaO₂ 60Torr以下）
- 4 意識障害
- 5 血圧（収縮期） 90mmHg以下

※5点満点で1項目該当すれば1点、2項目該当すれば2点。

※軽症0点、中等症1～2点、重症3点、超重症4～5点。

※ただし、ショックがあれば1項目のみでも超重症とする。

集計方法と定義について

※市中肺炎とは、普段の生活の中で罹患した肺炎を指します。

※2019年4月から2020年3月の期間に退院した成人（20歳以上）患者さんを対象に、入院契機傷病名および最も医療資源を投入した傷病名がICD10コードがJ13～J18\$で始まる傷病名を対象としています。なお、10人未満は－（ハイフン）で表示しています。

解説

症例数では、中等症の割合が最も多く、全体の半数以上を占めていますが、平均在院日数では重症の患者が最も短い傾向にあります。重症度が高いほど平均年齢が高くなる傾向です。